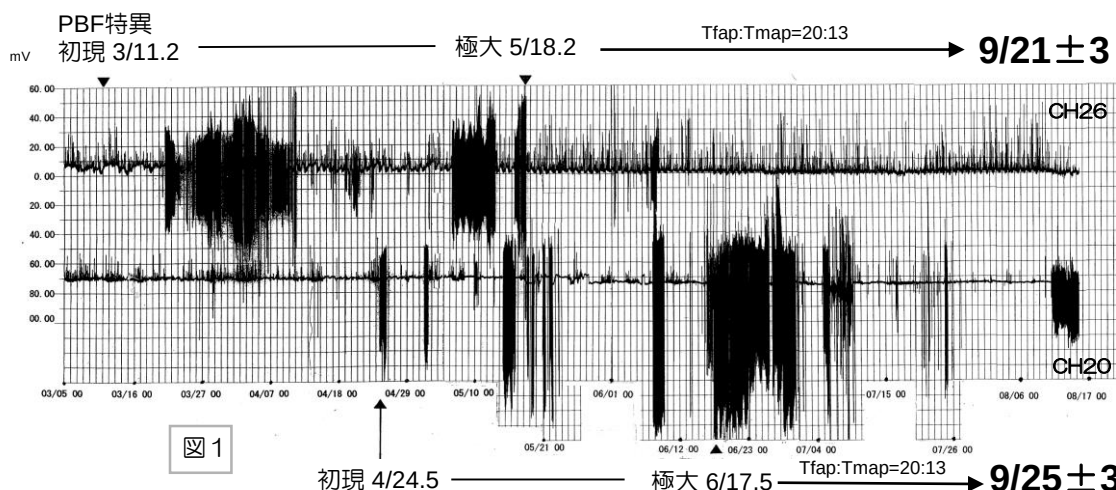


※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024.1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、 $M7.3 \pm 0.5$ の地震が $1/2 \pm 2$ に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。No1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。

※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模 $M6.1 \pm 0.5$ 、海深補正 $M0.9 \pm 3$ 、推定規模 $M7.0 \pm 0.5$ ）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターン $Tmap=12$ 日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

No1778 長期継続大型地震推定前兆変動続報 変動継続中 再考修正 早い場合 8/22±3 CH26静穏化確認できれば 9/23±3 発生の可能性有



◆No1778長期継続前兆変動のCH26・CH20は図1のとおりです。CH20は顕著特異変動が出現しました。

◆本日現在まだCH26にはPBF特異変動が出現しており、9/12±3以前に発生する可能性は否定できます。

◆このことから、再考しました。次に考えやすいのは

CH26の3/11.2からのPBF特異出現開始を初現とするものです。この場合は、9/21±3発生の可能性が示唆されます。

◆CH20は初現は以前と同じと仮定しますと、極大の位置の検討が必要です。一電圧側に最大変動となった6/17.5を極大としますと、9/25±3発生の可能性が示唆されます。

◆これらが仮に正しい場合で、9/23±3発生と仮定しますと、CH26=8/22±3静穏化 CH20=8/29±3静穏化が計算されます。これを確認します。静穏化しない場合はさらに再考し、続報でご報告致します。

- 推定領域：図2の点線領域内＝大枠推定領域
図2斜線域＝可能性が考えやすい推定領域
震央が火山近傍領域を含む可能性高い

- 推定規模：主震 $M8.0 \pm 0.3$ （単発の場合）または複合の場合＝ $M7.3 \pm 0.3 + M7.1 \pm 0.3$ 他等
Log L=0.5M-1.8 (Utsu.) 式で余震を含まない大型地震の断層長 Lkmが合計で約110～150km程度となる様な複合地震活動の可能性

※直近で噴火の可能性が考えられる変動はないため、現状では震央近傍火山の噴火の可能性は考えにくい。但し、噴火前兆変動は数日～2週間程度前に出現するケースが多いため、今後出現する可能性も否定はできません。その場合は続報予定。

- 推定時期：9/23±3 発生の可能性
※但し8/22±3にCH26の変動が静穏化の場合に限る
8/22にCH26の変動が静穏化しない場合は今後の観測で修正予定

- 推定地震：震源浅い陸域日本列島の地殻地震
- 推定発生時刻：午前09時±2 or 午後06時±3 （BT変動出現終息時間帯から推定）
- ※30年の観測で初めて体験する長期継続変動のため推定が間違っている可能性も否定困難
- ※仮に推定に近い活動が生じた場合でも被害が少ないことを祈ります。

